

令和8年1月号



春日部セントノア病院

〒344-0001  
埼玉県春日部市不動院野1112-1  
TEL048-760-1200  
FAX048-760-1201  
<https://www.saintnoah-kasukabe.jp>



～目次～

- 理事長挨拶
- 病院短信
- 日常の一コマ
- いきいき看護・介護
- 栄養科だより
- キャンドルサービス
- スタッフ紹介

吉村 一克  
田巻 國義  
松尾 綾子  
橋本 英介  
穴久保 沙耶香  
病棟デイルーム  
織恵 まゆみ

## 1月の予定

- ◇誕生日会 各病棟デイルーム 14:00～  
1病棟 1月16日(金)  
2病棟 1月13日(火)  
3病棟 1月19日(月)
- ◇初詣&獅子舞 各病棟デイルーム 14:00～  
1病棟 1月 9日(金)  
2病棟 1月 6日(火)  
3病棟 1月 5日(月)



12月25日、厳かにキャンドルサービスが開催されました。

ナイチシングルにならい、手にはキャンドル、看護の初心を胸に、職員が各病棟を訪問、デイルームでは患者さんとのクリスマスソングが高らかに響き渡っていました。

プレゼントも頂きましたヨ！

「おじいちゃん、おばあちゃん  
いつまでもお元気で！」

子育てもひと段落し、これからは趣味の時間を大切にしたいと思っています。旅行や温泉めぐりなど、心も体もリフレッシュできる時間を楽しみながら、毎日を前向きに過ごしていきたいです。日々のご縁や周囲の方々の支えに感謝し、明るく穏やかに過ごしていけたらと思っています。

## スタッフ紹介

2病棟 看護師  
おりえ  
織恵 まゆみ

血液型：O型  
趣味：旅行、温泉めぐり



新年あけましておめでとうございます。新型コロナ感染症が日本に侵入してから6年が経ち、やつと通常の生活が戻ってきたような気がしています。昨年末はインフルエンザが流行りましたが、マスクや三密がマスクを騒がすこともなくなりました。

令和八年が始まりました。皆様良いお正月をお迎えで下さい。

春日部セントノア病院は、川越セントノア病院が開院して、三年後の平成十八年に開院しました。「認知症」という言葉が使われ始めたのもその頃からです。

会人です。節目にいつも星霜移りゆくその速さにただ驚くばかりです。

新年あけましておめでとうございます。

A型の変異株『サブグレードK』が猛威を振るってきましたが、徐々に感染も減りました。しかし油断は禁物です。

去年の9月より従来のインフルエンザ

皆さんいかがお過ごしでしょうか。

これまでの大学病院で外科医だった自分が、縁あって川越セントノア病院に一年勤務した後、当院に赴任して、二十数年の時が流れました。当院の保育室で、当時のスタッフの赤ん坊が今は社会人です。節目にいつも星霜移りゆくその速さにただ驚くばかりです。

犬の名前は、モモ、ミミ、メメ、ネネ、ハナ、ヒメ、最近の流行りのムギ等二文字の名前が多く、覚えるのに苦労しています。

「身体は何ともないです。頭がすつきりしないですね。もう82歳だからしようがないと思つてます。」と笑う○○ずみサン。「御飯がお茶碗の底にこれぐらいしかないと。半分でいいから増やしてくれない。」と切実に話す○○やなぎサン。「ネクタイ素敵。これからもよろしく。」いつもほめてくれる○○ベサン。「もう引退させてください。足が痛くてトイレも一人じやいけない。迷惑かけるだけ情けないよ。」と泣きそうに話す○○のサン「稼いでくる旦那にはさせられないから毎日雪かきてたんですよ。もうみんな亡くなつて身内はいなくなつたんですけど。」となぜか娘さんのことは忘れてしまった○○ざわサン。「娘夫婦がもめてるみたいなの。私が話をしないと收まらないから行つてくるわ。」と娘さんは子ども扱いな○○だサン。「え、おせんべい、いただきます。煎餅屋の息子だつたんでも煎餅は大好き。」文句も忘れて喜んでくれる○○いサン。

「治療は時間がかかるから別にこのままでいいよ。これたら来るからハハハ」と遠回しに退院を訴える○○はらサン。「走れないわよ。もう若くないんだから。」と冗談に笑つて返してくれる○○やまさン。

「患者さんの名前を覚えると単に訴えを聞くのではなく、人として診ることができる。」と教えてくれた先生がいました。当院には一病棟56人、病院全体で168名の患者さん

がいて、衰えた記憶力で覚えられるのか:「認知症の良い薬ができないかな」は私個人の切実な願いでもあります。

皆様が良い一年を過ごせますように。

令和7年5月、当院に入院された当初は食欲が無く、しばらく点滴をしていました。面会の時にご家族が持つてこられたパンやお菓子はよく召し上がることから、試しにおやつにパンを提供したところ、ご自分でちぎってパクパクと完食されました。



その後はパンからおにぎりに、おにぎりから米飯に変わり、しかもお箸できれいに召し上がるようになりました。現在は少し柔らかい形状のものに変わり介助を要しますが、食欲は変わっていません。

また利枝さんは車イスに乗ってホールで過ごされている時、大きな泣き声をあげる時があります。「どうしました？」と声をかけると一瞬真顔に戻り、照れくさそうに「えへ。」と笑顔になります。そんな利枝さんがとても可愛らしくて、泣いていると真っ先に声をかけてくれります。

これからも利枝さんが穏やかに過ごせるよう、お手伝いできればと思います。

3病棟 介護福祉士 松尾 綾子

## 日常の一コマ

今回ご紹介する利枝さんは春日部市で生まれ育ち、中学校卒業後に職業訓練校に通い、25歳まで裁縫関係の仕事をされていました。26歳で結婚し2人のお子さんに恵まれました。

元々がおとなしい性格であり家から出なかったそうですが、令和6年4月ごろから「死にたい」「川に飛び込みたい」などの発言が聞かれるようになりました。症状にはムラがありましたが、年末ごろからご家族に対して暴言、暴力行為がみられるようになりました。

翌年に自宅で意識を失い、救急病院へ搬送され、慢性硬膜下血腫の診断で入院されました。入院後は認知症の悪化によりリハビリの指示が入らず、拒否や大声での声出しが多くなりました。

令和7年5月、当院に入院された当初は食欲が無く、しばらく点滴をしていました。面会の時にご家族が持つてこられたパンやお菓子はよく召し上がることから、試しにおやつにパンを提供したところ、ご自分でちぎってパクパクと完食されました。



## 栄養科 だより

管理栄養士 穴久保 沙耶香

新年あけましておめでとうございます。

当院では、元旦の昼食はおせちを提供させていただいております。

今年の絵馬かまぼこは、将棋の駒の絵柄です。飾り駒に見られる鏡文字の【左馬】は縁起が良いとされているため、かまぼこの向きに迷った末、分かりやすさから通常の右向きの馬での提供としました。新年を祝うおせち、患者さんは満足して頂けたでしょうか。おせちを提供するにあたって毎年、厨房職員にお願いしていることがあります。それは、『患者さんにとっては目の前のお食事が唯一である。どれが配膳されても思わず笑顔になるような素敵な盛付けをしてほしい。』です。

食事は見た目が大切だと感じています。特に認知症を患っている方にとって、目の前の物を食べ物だと認識し、「食べたい」と感じてもらうためには、おいしそうに見えなければなりません。もちろん、おせちに限らず普段のお食事にも言えることですね。本年も安全安心、見た目にもこだわったお食事を提供していきます！



「身体は何ともないです。頭がすつきりしないですね。もう82歳だからしようがないと思つてます。」と笑う○○ずみサン。「御飯がお茶碗の底にこれぐらいしかないと。半分でいいから増やしてくれない。」と切実に話す○○やなぎサン。「ネクタイ素敵。これからもよろしく。」いつもほめてくれる○○ベサン。「もう引退させてください。足が痛くてトイレも一人じやいけない。迷惑かけるだけ情けないよ。」と泣きそうに話す○○のサン「稼いでくる旦那にはさせられないから毎日雪かきてたんですよ。もうみんな亡くなつて身内はいなくなつたんですけど。」となぜか娘さんのことは忘れてしまった○○ざわサン。「娘夫婦がもめてるみたいなの。私が話をしないと收まらないから行つてくるわ。」と娘さんは子ども扱いな○○だサン。「え、おせんべい、いただきます。煎餅屋の息子だつたんでも煎餅は大好き。」文句も忘れて喜んでくれる○○いサン。

「治療は原則、院内で実施します。医療内容は一般の病院と変わりません。高齢で（平均年齢八十歳）免疫力が低下している患者が多いので、インフルエンザ、コロナウイルスなどの感染症対策は今後も大きな課題の一つです。入院期間は平均三～四年で十年を越える患者もいます。

「医療をどこまでやるか」

答えは一律ではありません。長く患者を支えてきた家族の意見が反映されるべきで、病棟との丁寧な話し合いが必要です。病状の把握は、病棟と家族が共有することが大切です。今後も皆さんの率直な意見をお知らせ下さい。私たちスタッフにとっては、患者とその家族が「この病院と知り合えて良かった」と思つてくれることが最高の喜びと励みになります。

昨年も内外での自然災害や戦争などのニュースが多い中で、日本からノーベル賞受賞者が二人発表され勇気をいただきました。資源の乏しい日本ですが、努力や勤勉さ、忍耐強さなども立派な資産ですね。

今年の干支は午です。前向きで明るく行動力があり、健康と発展の象徴でもあることです。丁寧な話し合いが必要です。病状の把握は、病棟と家族が共有することが大切です。今後も皆さんの率直な意見をお知らせ下さい。私たちスタッフにとっては、患者とその家族が「この病院と知り合えて良かった」と思つてくれることが最高の喜びと励みになります。

昨年も内外での自然災害や戦争などのニュースが多い中で、日本からノーベル賞受賞者が二人発表され勇気をいただきました。資源の乏しい日本ですが、努力や勤勉さ、忍耐強さなども立派な資産ですね。

今年の干支は午です。前向きで明るく行動力があり、健康と発展の象徴でもあることです。丁寧な話し合いが必要です。病状の把握は、病棟と家族が共有することが大切です。今後も皆さんの率直な意見をお知らせ下さい。私たちスタッフにとっては、患者とその家族が「この病院と知り合えて良かった」と思つてくれることが最高の喜びと励みになります。

今年も内外での自然災害や戦争などのニュースが多い中で、日本からノーベル賞受賞者が二人発表され勇気をいただきました。資源の乏しい日本ですが、努力や勤勉さ、忍耐強さなども立派な資産ですね。

今年の干支は午です。前向きで明るく行動力があり、健康と発展の象徴でもあることです。丁寧な話し合いが必要です。病状の把握は、病棟と家族が共有することが大切です。今後も皆さんの率直な意見をお知らせ下さい。私たちスタッフにとっては、患者とその家族が「この病院と知り合えて良かった」と思つてくれることが最高の喜びと励みになります。

今年も内外での自然災害や戦争などのニュースが多い中で、日本からノーベル賞受賞者が二人発表され勇気をいただきました。資源の乏しい日本ですが、努力や勤勉さ、忍耐強さなども立派な資産ですね。